

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

りゅうぎんユイマール助成会[※]は、平成22年11月、国際親善交流特別演奏会「アレクサンダー・ライチェフ ピアノ・リサイタル」の入場チケットを財団法人沖縄県セルプセンターに贈呈したほか、12月には、拘束型心筋症と診断され、米国での心臓移植手術を望む沖縄県在の中学生、要美優さんを支援する団体「美優ちゃんを救う会」へ募金を贈呈しました。平成23年3月には、甚大な被害を受けた東日本大震災の被災者を支援するための義援金を日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈しました。

また、当行は、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻(うるま)福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に事務局として携わっています。

CSR(企業の社会的責任)活動

県内の小学生に対する金銭教育の一環として、毎年夏休み期間中に、子どもたちがゲームを通して経済の仕組みやお金の流れなどを学ぶ「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。

芸術文化支援活動

芸術・文化活動の支援として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。

◆第17回(平成20年)に事業名を従来の「りゅうぎん紅型デザイン公募展」から「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」に変更しています。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から300万円の募金が集まった場合、銀行も300万円を拠出し、合計600万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、301件、1億3,696万円となりました。(平成23年5月31日現在)



宇流麻福祉基金助成金授与式



東日本大震災被災者へ義援金を贈呈



第8回りゅうぎんキッズスクール